

3 研究のまとめ

(1) 研究の成果

- ・歌舞伎「勧進帳」を学習する際、長唄を歌うという学習と歌舞伎や長唄を鑑賞する学習を関連付けた題材構成の工夫をすることによって、生徒が歌舞伎に親しんでいく態度を養うことができました。
- ・長唄の特徴や歌舞伎における長唄の役割や効果を考える際に、それぞれの生徒が持つ意見を交換し、他者と共有する学習をすることによって、生徒が歌舞伎や長唄のよさや美しさを味わうことができました。
- ・他教科の授業で学習した内容や日常生活の中で培ったこと等を生かしながら、歌舞伎のあらすじを理解したり、歌舞伎が流行した時代の文化について考えたりして、歌舞伎の特徴を捉えさせることができました。

(2) 研究の課題

- ・生徒が持っている我が国の伝統音楽に対する知識や情報は多くないので、音楽科の目標に示されている生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する育成するためには、音楽科の学習指導として系統的な指導計画を立てたり、地域との連携を図ったりすることが必要だと思いました。
- ・音楽科の年間授業時数が限られた中で、表現領域と鑑賞領域の一体化を図るには、授業ごとの指導のねらいを明確にし、生徒に1時間の学習目標を立てさせることが大事であると考えます。